

1月 9日(木曜日) **雪と強風のため休み**

1月16日(木曜日) **幼齡木ネットの下の落ち葉を取り除く枯れマツ除伐を手伝う**

【参加者:池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、森浜学、森浜牧 計 11名】

山好き、自然好きのご夫婦、森浜学さんと森浜牧代さんがモリメイトの仲間に加わった。ますます楽しくなりそうである。

公園職員(坂田さん、竹村さん)の枯れマツ除伐の手伝いと**幼齡木ネット**の下に溜まった落ち葉を取り除く作業を行った



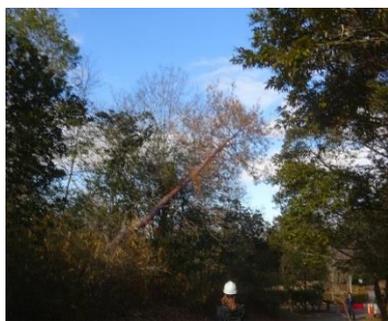
幼齡木ネットは、クヌギの植樹をしたときに、シカの食害から守るために被せたとうもろこしを原料としたネットであるが、クヌギの落葉がネットの中に溜まってしまうため、木の根元が腐ったり、幼虫の食害にあたりることがあった。そこで、1本1本固定した竹の杭を外して落ち葉を取り除くようにした。大変手間と時間のかかる作業であったが、全部取り除くことができた。

ビジターコテージから風のとりでへ向かう、散歩する人も多い園路沿いにある大きな枯れマツの除伐である。園路を通行止めにして、来園者に迂回をお願いするために、看板を立て、作業の前後に一人ずつ立つことにした。

1本目は、ワイヤーを使って倒れる方向に引っ張り除伐、2本目は受け口を入れた後、一人が倒す方向に押して除伐。その後、枝を払い、玉切りをし、園

路を掃いて作業を終えた。

「今回の作業は二人では無理な面もあったので助かった」と言ってもらえた。公園が居心地のいい場所になるよう、これからも協力していきたいと思う。



1月23日(木曜日) チッパー機が大活躍

【参加者;池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、森浜牧

計11名】



1月20日は一年で一番寒いといわれる大寒であるが比較的過ごしやすい日が続いており、この日も冬日和であった。

久々のチッパー処理作業の日である。やっとのことでエンジンがかかり、倉庫から

ゆっくりゆっくりとモリメイトフィールドにやってきたチッパー機をみんなで出迎え、作業開始。昨年の植樹地整備のときに出た木の枝や散乱していた枝などを処理していった。チッパー機の近くへ枝を運んでくる者、枝を投入する者、手渡す者など自然に流れができてスムーズに進んでいった。破片の跳ね返りなどに十分注意しながら作業を行った。チッパー機も順調に動いてくれて、「くぬぎの小径」周辺のチッパー処理を終えることができた。

モリメイト会議

- ・「シイタケの菌打ち体験」の当日のスケジュール、役割分担、事前準備、雨天時の対応 等について話し合う
- ・「枯れマツの除伐」については、枯れている場所、担当場所などを職員と共有していく
- ・森浜学さんと森浜牧代さんがモリメイトに参加



1月30日(木曜日) チッパー機・頑張りすぎました

【参加者;池本、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田、森浜学、森浜牧

計11名】

先週に引き続き、チッパー処理を行った。モリメイトフィールドの入り口、園路から少し下ったところの広場にチッパー機を移動させて作業開始。

枯れ木や枯れマツの除伐で出た枝や朽ちて落ちた枝などをチッパー機にかけていった。

ほぼ終わるといふ頃に、歯が投入した枝を噛み、動かなくなる。枝を取り出そうとして負荷がかかったのかベルトが切れてしまった。ドラムの上部を取り外し、かかった枝をのこぎりで切り、取り除いた後、切れたベルトも外した。ベルトを交換する必要があるため、チッパー処理は来週に持ち越すことにした。

午後からは、「カブトムシの森」に置いてあったシイタケの原木をビジターコート裏の広場に運んだ。



階段や手すりの所々の木が腐り、登れなくなっていた見晴台「風のとりで」の修理が終わり、あとは足場をはずすのみとなっている。もうすぐ、伊賀の美しい風景を見渡せそうである。

